

明日からの実務に活かせる！医療データ利活用の実態とその最前線について解説！
医療データの具体的な情報収集方法とは？臨床開発における利活用事例も紹介！

1名分料金で
2人目無料

医療データの情報収集と臨床開発における 医療データ利活用のポイント【LIVE】

◆日時：【LIVE配信】2025年9月25日（木）12:30～16:30

◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円（税込）**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で49,500円（税込）**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

☆講師

TXP Medical(株) 戦略推進責任者(Strategic Development Officer) 兼 Medical Data Lab所長 大角 知也 氏
(株)ニシウマ 代表取締役 西馬 信一 氏 《ご専門》臨床開発、メディカルアフェアーズ、安全性管理、RWD/疫学

※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

☆講演の趣旨

医療DXの進展とAI技術の急速な普及により、医療データの情報収集と臨床開発への利活用は新たなフェーズに突入しています。特に、希少疾患やオンコロジー領域では、従来の治験や観察研究に加え、電子カルテやレジストリデータ、ゲノム・画像・PRO (Patient Reported Outcome)といった多様なデータの統合活用が、治療法の開発や個別化医療の鍵を握っています。

本セミナーでは、現場の知見と技術動向をもとに、医療データ利活用の実態とその最前線について解説いたします。また、AIや自然言語処理を駆使した先進事例、そして今後求められる標準化や国際連携など、実践と戦略の両面から講じます。特に製薬企業・医療機関・スタートアップでの導入を想定した視点で整理することで、明日からの実務に活かせる内容を目指します。

☆プログラム

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1. はじめに</p> <p>1-1. 医療DXとデータ活用の潮流</p> <p>1-2. セミナーの目的と本日のゴール</p> <p>2. 医療データ活用の現状</p> <p>2-1. 厚労省主導のデータヘルス改革</p> <p>2-2. 電子カルテ、DPC、PHR、匿名加工情報の動向</p> <p>2-3. RWD(リアルワールドデータ)とその可能性</p> <p>3. 医療データの情報収集方法</p> <p>3-1. 医療機関でのデータ抽出の実際</p> <p>3-2. データ種類ごとの特徴と利活用マップ</p> <p>・電子カルテ／DPC／レジストリ／PHR</p> <p>3-3. 匿名化処理と法的留意点</p> | <p>4. 臨床開発における利活用事例</p> <p>4-1. 希少疾患領域におけるデータ連携と外部
対照群活用</p> <p>4-2. ゲノムデータ×治療反応性の分析</p> <p>4-3. オンコロジー領域における治療効果予測・
画像連携の最新動向</p> <p>4-4. RWDとin silico臨床試験の組み合わせ事例</p> <p>5. AI技術を駆使した情報収集と活用</p> <p>5-1. 自然言語処理(NLP)による自由記載文の
構造化</p> <p>5-2. 機械学習による副作用予測と治療選択支援</p> <p>5-3. AI画像解析: 早期がん検出などの応用</p> | <p>5-4. 時系列データと異常検知: バイタルサインからの
早期警告モデル</p> <p>6. 今後の課題と展望</p> <p>6-1. HL7 FHIR等のデータ標準化</p> <p>6-2. マルチモーダルデータ統合の必要性</p> <p>6-3. 国際的なプラットフォーム連携
(ORPHAnet, GA4GHなど)</p> <p>6-4. ブロックチェーンによるトレーサビリティの検討</p> <p>7. 患者中心の臨床開発の実践と展望</p> <p>7-1. 患者の声を活かした治験デザインとPRO活用</p> <p>7-2. 在宅治験と患者参加型運営の広がり</p> <p>7-3. 患者ジャーニーと患者団体連携による開発最適化</p> |
|---|--|--|

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら (https://zoom.us/download#client_4meeting) からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。

2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら (<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までににお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『医療データ活用』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。

弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>